

たばこの健康影響を川柳で伝えよう！

川柳 コンテスト

応援！ 禁煙

禁煙は未来を守る道しるべ

ジュニア部門 最優秀賞

後藤 絢さん

一般部門 最優秀賞

肺に問う「禁煙するか？」「はい」即答

橋本 由香里さん

一般部門 優秀賞

たばこ減り 増える家族の笑い声

影山 聡子さん

禁煙で増える幸せ 減る病気

ジュニア部門 優秀賞

高橋 優奈さん



応募締切

2025年

9月30日火



応募
フォームは
こちら

<https://www.cjnavi.co.jp/event/20250712yellowgreen-campaign/>

福島県では禁煙を促し、受動喫煙防止を推進する「応援！禁煙川柳コンテスト」を開催！入賞者には素敵な賞品をプレゼント。渾身の一句をお待ちしております。

賞品はこちら

【一般部門】

最優秀賞
1名

温泉旅館ペア宿泊券

優秀賞

5名

福島県産品セット

入選

10名

福島県産品ミニセット

賞品提供：(一社)福島県医師会



【ジュニア部門】

最優秀賞
1名

図書カード5,000円分

優秀賞

5名

図書カード3,000円分

入選

10名

図書カード1,000円分

賞品提供：
(一社)福島県公衆衛生協会



主催：福島県健康づくり推進課

共催：(一社)福島県公衆衛生協会、(一社)福島県医師会

問い合わせ：CJ Monmo編集部 TEL:024-593-0500

応募方法 ① 上記の「日刊CJ Monmo Web」の専用フォームに必要事項を入力し送信

② CJ Monmo8月号の読者ハガキに必要事項を明記し、ポストに投函

※CJ Monmo読者ハガキでの応募は8月18日(月)まで

応募規定 テーマは「喫煙対策や受動喫煙防止など、たばこの健康影響」。五・七・五の十七音を基本とし、自由な発想で創作したもの。1名につき1作品に限る。

応募資格 <一般部門> 福島県内在住の18歳以上の方
<ジュニア部門> 福島県内在住の18歳未満の方

結果発表 2025年11月中旬予定

※福島県HPや「日刊CJ Monmo Web」にて、入賞作品と応募者の氏名を発表いたします。また、CJ Monmo2月号(2026年1月25日発売)にも同内容を掲載いたします。

表彰式 2025年12月13日(土)開催予定

※11月中に入賞者へ参加依頼を差し上げます。

※審査結果につきましては、各部門の入賞者に対して電話にて、連絡いたします。審査結果に関してのお問い合わせやお申立てには応じかねますのでご了承ください。

※ペンネームで応募いただいた作品が入賞した場合は、本名をお伺いいたします。入賞作品は、福島県HPやCJ Monmo等に入賞者の氏名を含めて掲載いたします。今後、県が作成するポスター等の啓発資料にも活用いたします。

福島県は喫煙率が 全国ワースト1位です！



福島県の喫煙率は全国平均を上回っており、特に男性は33.2%で全国ワースト1位、女性も10.5%で2位となっています。こうした現状を受け、県では「ふくしま受動喫煙防止条例」や禁煙支援などの対策を進めています。喫煙は個人の健康だけでなく、周囲にも大きな影響を与えるため、家族や地域の方と協力しながら意識を変えていくことが大切です。

喫煙率

	男女計	男性	女性
全国	16.1%	25.4%	7.7%
福島県	21.4%	33.2%	10.5%

(2022年国民生活基礎調査)

たばこの煙の健康影響

有害物質は煙の中に

たばこの火のついた部分から出る副流煙には、喫煙者が直接吸い込む「主流煙」よりも高濃度の有害物質が含まれており、発がん性物質も含まれています。特に、子どもや妊婦、高齢者は影響を受けやすいため、受動喫煙の対策は欠かせません。



煙が引き起こす病のリスク

たばこの煙を長期間吸い続けることにより、呼吸機能が低下する肺の疾患や、胸部の圧迫感を伴う心疾患、歯周疾患などを発症しやすくなります。この他にも、たばこの煙の有害物質は様々な病気の引き金となり、重大な疾患のリスクも高めます。



特別インタビュー

受動喫煙防止を目指す イエローグリーンキャンペーン

福島県内で精力的に『イエローグリーンキャンペーン』の普及啓発を行う齊藤道也先生に、喫煙の健康影響などについてお話を伺いました。

受動喫煙の危険性について教えてください。

たばこから出た副流煙を直接吸う二次喫煙だけでなく、衣服やカーテンなどに染み付いた煙を吸う三次喫煙も健康影響を引き起こします。ニオイが無いながらも、有害物質が残っているという危険な状態です。実は、加熱式たばこも非常に多くの有害物質を含んでおり、同じように受動喫煙が起こっています。

どんな健康影響がありますか？

全身のがん、脳血管疾患、心疾患などに、非常に強い影響を与えます。実際、福島県は心筋梗塞や脳梗塞での死亡率が高いというデータが報告されています。

イエローグリーンとは何ですか？

「愛する人をたばこの煙から守りたい」という思いを表す“心の色”です。皆さんもイエローグリーンリボンの着用や身近なところをライトアップして、思いをつなげましょう。

教えてくれたのは…

みちや内科・胃腸科
院長・医学博士

齊藤道也 先生

院長を務める診療所にて禁煙外来を推進する他、「一般社団法人 Tobacco-freeふくしま」代表として『イエローグリーンキャンペーン』の普及啓発を行っている。「福島県から始まったこのキャンペーンは全国に拡大しています。ぜひ一緒に広めていきましょう」

愛する人を
たばこの煙から
守りたい

イエローグリーンリボンで発信！

イエローグリーンは「愛する人をたばこの煙から守りたい」という気持ちを表す色です。受動喫煙をしない・させない社会を目指すため、福島県ではこのシンボルカラーを用いたイエローグリーンリボン運動を推進しております。



福島県タクシー協会では、加盟の全タクシー車両2,500台に啓発ステッカーを貼っている